

## 1 育てたい生徒像（教育目標）

人間尊重の精神を基盤として、感謝と畏敬の念をもち、伝統文化を継承し、世界的視野に立って新しい社会・文化を創造する人間の育成を目指す。

### 鍛錬

教養と品格を磨き、心身共に自らを鍛える

### 参画

豊かな人間性や社会性を身に付け、自ら進んで社会に参画する

### 飛躍

夢や希望の実現を目指し、自らの可能性を信じて挑戦する

## 2 学校経営の基本理念

- 「育てたい生徒像（教育目標）」の実現を目指す。
- 生徒一人ひとりの個性・特性の伸長を図る活動の充実を第一とする。
  - 生涯学習の基礎を確実に身に付けさせる教育活動の条件整備を進める。
  - 「地域の学校」という公立学校の特徴を最大限に生かす。
  - 学校の組織的実践を向上させる。

## 3 目指す学校像

- 家庭・地域との相互理解・連携・協働を図り、学校の役割を確実に果たして家庭・地域の信託に応える開かれた学校
- 生徒の自己実現に向け、生徒一人ひとりに光を当て、粘り強く指導する学校
- 生涯に渡って学び続けるために必要な基礎的・基本的な知識・技能、主体的・自律的な態度と創造力、及び学び方など、生涯学習の基礎・基本を身に付けられる全ての教育活動が充実した学校

## 4 求める教師像

- 一人残らず全ての生徒の心に火をつけて奮い立たせるとともに、潜在している多様な能力を引き出し大きく育て、それぞれの可能性を無限大に広げていくことのできる教師  
※教育学者：ウィリアム・アサー・ワードより
- 常に真理を希求し、高い志と進取の精神をもって、よりよい授業の実現のために努力を惜しまず研究・実践することのできる教師
- 常に自らを慎み、先入観にとらわれず共感的に人と接するとともに、協働することのできる教師

## 5 学校教育目標を達成するための基本方針

### 【多様化する社会に対応する力の育成】

- 人権尊重の精神をもち、思いやりの心や社会生活の基本ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神を育成する。
- 多様化する社会に適応した教育力の向上を図る。
- 国際社会に通用する人材を育成する。

### 【心身に鍛錬する力の育成】

- 新宿区学力定着度調査の結果を踏まえてICT機器を活用した教育を充実させ、個別最適な学び及び協働的な学びを通して、自らを鍛えることのできる生徒を育成する。
- 安心・安全に鍛錬できるよう、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育環境の整備を行う。

### 【社会に参画する力の育成】

- 障害者理解や伝統文化を学ぶ機会等を通して、持続可能な社会の創り手となる生徒を育成する。
- 地域協働学校の機能をより活性化させ、生徒と地域がつながる教育活動の充実を図る。

### 【飛躍に向けて挑戦する力の育成】

- 自らの職業や進路、生き方について考え、目標に向けて自立的に行動できる生徒を育成する
- 鍛錬・参画・飛躍を各学期や学年ごとのサイクルとして繰り返すことにより、中学校3年間の経験を通して主体的・自律的に活動し、生涯を生き抜く力を培う。

### 重点的取組 1

#### ☆全ての生徒の確かな学力の向上

##### (1) 学力調査を活用した個々の生徒に対する指導の充実

- 「学力向上のための重点プラン」を作成し、授業の工夫・改善を行い、生徒の基礎学力の向上を図る。
- デジタルドリルを活用して個々の生徒の学習状況に合わせた個別最適化の学びを展開し、基礎・基本の定着を図る。
- 放課後自習教室と特別講座、補充教室等、生徒の学力に応じた放課後の学習の場・機会を設定する。

##### (2) 全教科でICT機器を活用した授業改善

- 協働学習支援ツール「オクリンクプラス」の活用等、タブレット端末を効果的に活用し、言語活動を適宜取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する。
- 調べ学習等で学校図書館やICT機器を活用し、自らが課題を設定し、課題を解決する学習に進んで取り組む態度を育成する。
- 英語の授業では、デジタル教科書やALTを活用し、スピーキング力を高め、英語力の向上を図る。

##### (3) 理科教育の充実 サイエンスプログラムの推進

- 理科の授業では実験・観察する機会を多く設定するとともに、新宿版SPP事業の活用することで、自然科学についての興味関心を高めながら、探究的な学習の充実を図る。

### 重点的取組 2

#### ☆生徒の自己指導能力、主体的・自律的態及び創造力の育成

##### (1) 生徒による生徒会活動、学級活動、学校行事の企画立案と運営の充実

- 生徒が集団と個人の間を意識しながら自主的に判断・行動し、積極的に自己を生かして行く場面を設定し、実践力を育成する。

##### (2) 社会的・職業的自立に向けた進路指導の充実

- 自己理解を深める活動をもとに、職業調べ、職場体験および上級学校調べ等の体験的な活動の系統化を図り、将来の生き方について目的意識をもって生徒自ら進路選択ができる力を育てる。

##### (3) 体力向上に実現に向けた運動できる環境の整備

- スピードアップアカデミーを活用した体力向上の取組の充実、陸上競技部の朝練習等、機会や場所を全生徒に提供し、自ら体を鍛えようとする意欲を引き出す。

##### (4) 情報モラル教育の推進

- 情報社会でのルールとマナー、各種メディアとの適切な関わりを考える「ノーメディアデー」を実施し、情報モラルについての意識を高め、規範意識や危機管理能力の向上を図る。

### 重点的取組 3

#### ☆礼儀正しく、思いやりのある心豊かな人間の育成

##### (1) 「特別の教科道徳」を中心とした道徳教育の推進

- 考え議論する道徳として、ICT機器を効果的に活用した話し合い活動を取り入れ、役割と責任を自覚するとともに、他を尊重し思いやることのできる心の教育を推進する。

##### (2) 体験的な活動を取り入れた障害者理解教育の推進

- 「車いすバスケットボール体験」や「パラアスリートとの交流体験」を設定し、手話言語についての理解を取り上げ、共生社会の実現に向けた障害者理解教育を進める。

##### (3) 地域・社会に貢献する取組の推進

- 第1学年では避難所運営訓練、第2学年では職場体験学習や普通救命講習等、その他生徒会活動や部活動を通して、地域との関わる機会を設定し、健全育成の基盤を創る。

### 重点的取組 4

#### ☆生徒一人ひとりの多様性に応じた学びの保証

##### (1) 不登校対策についての学習支援の推進

- 登校支援委員会を定期的に関き、不登校生徒（登校渋りの生徒を含め）の情報共有と対応策を検討し、初期段階からの組織的・計画的な支援体制を創る。
- 「和室」による居場所づくり、「つくし教室」「チャレンジクラスNS学級」との連携等、状況に応じた個別学習の支援を行う。
- 「hyper-QU」の分析結果や新宿区版不登校マニュアルを活用し、客観的な生徒理解に努めるとともに、関係機関と連携した組織的な相談体制の充実を図る。

##### (2) 特別支援教育の推進

- 特別支援校内推進委員会を定期的に関き、支援が必要な生徒には、関係機関と連絡を図るとともに、巡回相談心理士、スクールカウンセラー等から専門的な助言や援助を活用し、「まなびの教室」等の状況に応じた支援の充実を図る。

##### (3) 個のニーズに応じた取組の推進

- 第3学年では地域人材を活用して「都立高校説明会」や「進路面接練習」を実施し、生徒が主体的に進路選択できる力を育てる。
- 部活動では区の部活動指導員や民間の外部指導員を活用して、学校と連携した指導体制を整える。